

湯の丸山保全ボランティア育成事業

取り組みに至る背景・事業の目的

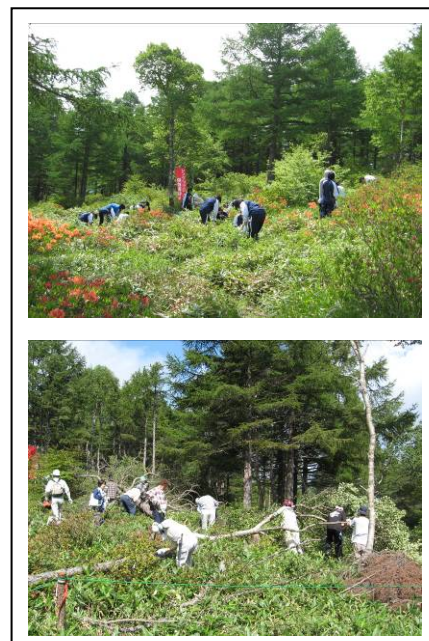
- 東御市湯の丸高原は、国指定天然記念物のレンゲツツジ群落(60万本)を中心に希少な高山蝶や山野草が生息する地域であるが、高木の成長や林床の笹地化により、群落等が衰退している。
- 保全のために、ボランティアによる間伐や下草刈りを実施しているが、広範囲にわたるため、少しかつ高齢のボランティアでは、保全活動が遅々として進まない。
- モニタリングを通して、作業実施者やボランティアにやりがいを実感してもらい、保全活動の基盤を作る
- 将来にわたり保全活動が可能な若い人材を育成する。

事業内容

- モニタリングの実施(6回)
- 地域住民・都会の子供たちによる森林整備の実施(20回)
- 湯の丸山環境保全計画活動報告会の開催

事業効果

- モニタリングの実施により作業実施者や来訪者の当該保全活動への関心が高まった。
- 地域住民・都会の子供たちによる森林整備には延べ850名が参加した。都会の子供たちや学校団体の受け入れにより、こども達が自然を意識するきっかけとなるとともに、湯の丸山の観光保全活動のPRにもつながっている。



【森林整備の風景】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- モニタリングに関しては、次年度以降レンゲツツジの生長や植物の多様性の変化をボランティアや作業実施者と共に調査を実施する中で観察していく。
- 今後は植物のみならずチョウの保全団体等との連携を図った中で、保全活動を実施していく。
- ボランティア育成に関しては地元東御市や嬭恋村と連携した中で、より多くの地域住民の参加を目指す。特に地元の子供達にとって、地域の自然や現状を知り、その保全活動に関わることは、自らが住む地域の自然を誇りとする心を養うことにつながる。
- 将来にわたって継続的に活動可能な人材をはぐくむ。

【選定のポイント】

湯の丸山全体の環境保全のためのモニタリングや、ボランティア体験教室の開催により、地域住民のみならず都会の小中学生等にもボランティア参加の機運が高まり、環境景観保全及び観光客の増加へも寄与している。

団体名	NPO法人浅間山麓国際自然学校(小諸市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話 0267-23-3124	事業費	1,594,936円
ホームページ	http://npo-asama.jp/top.html	支援金額	1,589,000円
メールアドレス	npo-asama@mopera.net		